

タブレットPCを活用した教育活動の充実に向けて 北海道小樽桜陽高等学校

(取組のポイント)

令和4年度以降の入学においてBYODに対応した教育活動の充実が求められている現状を踏まえ、授業の各場面におけるタブレットPCの積極的な使用や、教育活動におけるクラウドサービスの効果的な活用など、学びのDXを意識した本校の教育活動の一層の工夫・改善の推進に向けて、本校教員の理解の深化及びICT活用スキルの向上を図る取組

取組に当たっての課題意識

- 4月以降のBYODへの対応に向けたタブレットPCの操作等の習熟
- クラウドサービスを活用した教育活動の在り方についての理解の深化

具体の取組例	事業との関連等
<ul style="list-style-type: none"> ○ クラウドサービスを活用した教育活動に係る情報収集 <ul style="list-style-type: none"> ・道内外の学校の先進的な取組の情報収集や、ウェブフォーラムへの参加等による成果や課題の把握 ○ 校内研修（講師：本校教諭） <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの基本操作等の研修 ○ ICT Short Session（道教委）への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決等に向けた協議及び情報交換等 ○ 校内研修（講師：後志教育局指導主事） <ul style="list-style-type: none"> ・クラウドサービスの理解 ・クラウドサービスの基本的な操作について ○ 校内研修（講師：本校教諭）※1月～3月 <ul style="list-style-type: none"> ・クラウドサービスの効果的な活用に向けて ・複数回に分けて段階的に実施 ○ 校内研修（講師：本校教諭）※2月 <ul style="list-style-type: none"> ・クラウドサービスを活用した授業の公開 ・公開授業に基づく校内研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT教育推進課による助言及び他校との情報交換等 ・教育局による助言 第1回 12月21日（火） テーマ 「Google Classroom等の活用方法について」 ・教育局による助言 第2回 2月下旬予定



取組の成果

- タブレットPCの操作方法についての理解が深まり、基本的なスキルの向上が図られた。
- 操作体験を重ねることで苦手意識が払拭され、主体的な取組の姿勢が醸成されてきた。

課題解決に向けたプロセス